

第 8 1 回東北地方交通審議会
船員部会 議事要録

平成 27 年 7 月 24 日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会

第81回船員部会

日 時 平成27年7月24日(金) 15:30~

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 長谷部部会長、高橋部会長代理、佐々木委員、
船津委員

労働者委員 : 紺野委員(欠席)、正路委員、鈴木委員

使用者委員 : 佐藤委員、鶴本委員(欠席)、湯村委員

運輸局 : 菅原海事振興部長、村木海事振興部次長

峯田船員労働環境・海技資格課長

鈴木船員労政課長(欠席)、佐々木労政係長

議 題 (1) 管内の雇用等の状況について

(2) その他

配付資料

資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料(平成27年5月分)

資料2 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料3 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料4 新規求人・求職数(全国)

資料5 有効求人・求職数(全国)

資料6 有効求人倍率(東北管内)

資料7 有効求人倍率(全国)

資料8 最低賃金の改正に関する検討資料

資料9 新聞情報

(参考資料) 海事レポート2015

議 事 概 要

◎開 会

【村木海事振興部次長】

〔第81回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料確認〕

◎議 事

【長谷部部会長】

それでは、議事に入りたいと思います。

いつもの管内の雇用等の状況に入る前に、前回、湯村委員の方から照会のありました函館の宇賀浦技能訓練所について、事務局の方から報告をお願いします。

【峯田船員労働環境・海技資格課長】

ご報告します。函館少年刑務所は、全国7ヶ所の少年刑務所の一つになっております。場所は、函館市の金堀町にあります。

そこで職業訓練を行っておりますけども、職業訓練のうち総合訓練を行う総合訓練施設としても指定されております。総合訓練施設は全国で8ヶ所あるそうです。

その総合訓練ですが、理容科、情報処理科、クリーニング科、自動車科など10種類ございまして、そのうちの一つに船舶職員科という科目がございます。

全国で唯一練習船を保有している刑務所になっております。船舶職員科の訓練を受ける者は、看守の監視の下で練習船を使用して訓練するということになっております。

あと、沖合に出て漁業の実習も行うこともあるということです。訓練を受けた者は、海技免状を取るための履歴、2年とか3年とかありますけど、訓練を受けた者は6級とか5級とかの国家試験を受けるための資格が発生するということになっております。

訓練を行う施設として函館少年刑務所は修了証書を授与するんですが、その時に、宇賀浦技能訓練所という名前を使用するということになっております。

使用する船舶は、法務省所有の99トンの第三種漁船を使用して行っているということです。

詳しい内容は法務省の方に問い合わせただければと思います。

以上のとおり、ご報告します。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。確かにあるということですね。

これは、どういういきさつで練習船を持つことになったんですか。結構すごいことではないですか。それだけ教えて下さい。

【峯田船員労働環境・海技資格課長】

この函館の施設は、全国から受刑者を集めて訓練するという総合訓練施設となっておりますが、そこで船を持っているいきさつまでは、私の方では調べかねます。

【長谷部部会長】

ホームページなんかには書いてあるかもしれないということですね。分かりました。

それでは、自習して下さいという話なので、湯村委員、よろしいでしょうか。

【湯村使用者委員】

はい。

【長谷部部会長】

ということで、確かにあるということを確認することができました。どうもありがとうございます。

何かご質問等ございますか。よろしいですか。（「はい」の声あり）
ありがとうございました。

（１）管内の雇用等の状況について

【長谷部部会長】

それでは、議事次第の議題（１）管内の雇用等の状況について、事務局の方からご報告いただきます。

〔村木海事振興部次長より資料１から資料７に基づき報告〕

【長谷部部会長】

ただいまの報告内容につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、どうぞ。それほど大きな変化はない。

【村木海事振興部次長】

そうですね。殆ど同じくらいの数字で推移しています。

【長谷部部会長】

では、よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

どうもありがとうございます。了承いただいたということで、次に進みたいと思います。

（２）その他

【長谷部部会長】

それでは、議事次第の（２）その他ですが、資料８につきまして事務局から報告をお願いします。

〔村木海事振興部次長より資料８に基づき説明〕

【長谷部部会長】

どうもありがとうございました。

前は５月ですか、検討資料の配付について、追加情報をいただきました。今回はアナウンスのみということですので、その旨ご了解下さい。それでよろしいでしょうか。

それでは、次に情報提供ということで、労働者側の方から、鈴木委員。

【鈴木労働者委員】

八戸で、５月１５日に中型イカ釣がアカイカ漁に出て、丁度約２ヶ月で今日初めて１隻入港してきました。

ほぼ満船状態ということで、１３０トン位積んできたような話をしていました。

ただ、値段は若干高いんですが下値が安くて、去年より何か安いような話をしていましたけど、でも１３０トンで３、３００万円位になるような話でした。

明日から、順次1隻、2隻と21隻位ですか、入ってくるような話をしていました。

それと、先月の部会で大島汽船の話をしたんですが、昨日今日と三陸新報と河北新報に載りました。やっと新聞に載ったので、これからちょっと動きがあるのかなという思いでいます。以上です。

【長谷部部会長】

その件については、何も事務局の方からはございませんですか。（「はい」の声あり）

はい。一応ご了解いただいているということですね。ありがとうございます。

その他ございますか。正路委員はいいですか。（「はい」の声あり）

それでは、使用者委員の方から何かございましたら。

【湯村使用者委員】

私の方からは特に…。

【長谷部部会長】

佐藤委員は…。

【佐藤使用者委員】

私ら旅客船業界でも、平成28年度予算について色々陳情する項目を整理していきまして、瀬戸内海を囲んだ海域では高速道路の値下げをやめてくれというような意見が多いんですけど、私ども東北の旅客船事業者とすれば、以前1,000円で乗り放題というのありましたが、ああいうのを1,000円というくくりじゃなくて大幅に値下げして、もう一度窓口に行列ができるような状況になってほしいというのが事業者の希望で、それを文書化してこの間出したところなんですけども、なかなか我々の組織が小さいので話題にも載らないのかなと…。

ただ、何も言わないよりも、常に意思表示していかないと、なかなか国の方まで行かないのかなと思っております。

今、特に北海道に行くとな中国人の観光客がかなり多い。ただ、やはり福島という原発の影響エリアにおいては、やはり外国人の旅行者がなかなか伸びないというのが現状です。

さきほど気仙沼の大島汽船の話も出ましたけれども、18年度いっぱいだと19年3月ぐらいまでに開通するんですか。

そうすると、やめざるを得ないという状況で、ただ、あそこ、観光にも色々な企画をやっているようですから、当然大島の観光では、やっぱり遊覧船は必要であろうと思っております。

我々業界でも、色々なところの観光航路を参考にしながら、アドバイスしていきたいと思っています。

【鈴木労働者委員】

ちょっといいですか。

今の佐藤委員の話で、この新聞にも書かれているんですけども、平成30年度の大島架橋開通で廃止するというので、株主総会で決まったそうです。

それで、今言ったように観光業務で営業は継続したいが、33名の従業員がいる中で、その人達の雇用問題が必ず発生するみたいなことも新聞には載っています。

【長谷部部会長】

問題点の認識共有は進んでいるように見えるということでしょうか。

運輸局の方の東北の観光開発政策はどのようなものなんですか。

【菅原海事振興部長】

観光は、震災以降、運輸局の政策の三本柱の一つに入っております、この7月に観光部という新たな組織も企画部門にできました。交通政策部と観光部という新しい組織ができて、運輸局としても観光を全面的に強く推進していくという体制は整えていますので、今後、東北観光推進機構とかそういった関係団体とも協力し連携しながら、観光政策を進めて行くこととしています。

【長谷部部会長】

旅客船協会の方とのコミュニケーションをうまく取りながら進めていただきたいと思います。

【菅原海事振興部長】

色々皆さんからご意見を伺いながら施策に反映させていきたいと思っております。

【長谷部部会長】

ということで、佐藤委員よろしいですか。

その他ございますか。他になければ、ちょっといつもより早いですけど、これで本日の議事終了としたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

どうもありがとうございました。

それでは、次回の船員部会は8月28日の金曜日、15時30分から会場はここ4階会議室で開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

◎閉 会